
[コメント]

最近、メール宛先から戻りのアドレスを削除したり整理しコメントしてみたらず有効なものだけで 1,000 を超えることが判明しました。以前、送信がスムーズに行かなかった時もあり、現在は送り先を 3 分割して送信している状況です。Aerospace &

Defense を目指していますが、追加で個別に受信希望な方がおればご紹介下さい。また、業界に案内したいことなどあればお寄せ下さい。

2005 年 5 月 13 日 15:50 SpaceWar Express - May 13, 2005

ロシアはロシア宇宙庁の提案によりエネルギア・ロケット社の社長をセミニョフ氏からセバスチャノフ氏にすげかえ

- Putin Space Putsch Gathers Force

<http://www.spacewar.com/news/russia-05c.html>

Moscow, Russia (SPX) May 12, 2005 - The Russian Government is backing a proposal by the Russian Federal Space Agency to replace

the current president of the semi-private [Energiya rocket company](#), Yuri Semyonov, with Nikolai Sevastianov.

2005 年 5 月 14 日 0:28 May 13, 2005 AIA dailyLead

新しい宇宙機のスケジュールがフロリダ州を助け、職を守る

New timetable for spaceship will help Florida, save jobs

The decision to speed the timetable for the development of a new spaceship is a gain to Florida's economy, Florida Today reports. The move will also save thousands of jobs at Kennedy Space Center.

NASA Administrator Michael Griffin recently said he wants a new spaceship ready by 2010, instead of the previously expected date of 2014. Florida Today (Melbourne) (5/13)

2005 年 5 月 12 日 18:47 WIRED NEWS (2005/5/12)

米コーネル大、自己複製ロボットを開発

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050512302.html>

米コーネル大学の研究チームが、自己の形を複製するモジュール型ロボットを開発。複数のキューブ(立方体)型モジュールで構成され、

与えられたキューブを連結・分断し、自身と同じものを組立てる能力を持つ。

2005 年 5 月 12 日 18:47 WIRED NEWS (2005/5/12)

『ロボカップ』の一番人気は『アイボ』のサッカー

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050512303.html>

ジョージア工科大学で開催された 2005 年『ロボカップ・アメリカンオープン』。搜索救助活動の競技や、『セグウェイ』に乗った人間とロボットが対戦するサッカーなどの競技が行なわれたが、最も人気が高いの

はロボット犬『アイボ』によるサッカーで、独ドルトムント大学チームが勝利を収めた。

2005 年 5 月 12 日 18:47 WIRED NEWS (2005/5/12)

ヒトと動物のキメラ研究にガイドライン

<http://hotwired.goo.ne.jp/news/20050512304.html>

米国立アカデミーは、動物の胚にヒトの ES 細胞を組込むなどの「キメラ生物」実験に関するガイドライン概要を発表。霊長類にヒト細胞を組込んではいない、ヒト細胞を持つキメラ生物から子孫を作っては

ならない、などの内容。これまでもすでに、ヒトの血液幹細胞をブタの胎児に移植する実験や、ヒトの細胞を組込んだマウスの作成が行なわれている。

ノースロップグラマンは DSP ミサイル打上げ警戒衛星の最終号機をケーブルカナベラルに出荷

NORTHROP GRUMMAN SHIPS FINAL DSP TO CAPE CANAVERAL

REDONDO BEACH, Calif. - Northrop Grumman Corporation shipped the 23rd satellite in the long-running Defense Support

Program (DSP) series to the United States Air Force's Cape Canaveral Air Station for launch preparation. Flight ...

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=115288>

オービタルサイエンスは米空軍に即応打上げロケットを納入予定

ORBITAL SCIENCES TO PROVIDE RESPONSIVE LAUNCH VEHICLES TO U.S. AIR FORCE

DULLES, Va. - Orbital Sciences Corporation will supply two new small launch vehicles to serve the U.S. military's need for responsive

space launch capabilities under a launch services contract by the U.S. Air Force. Orbital has ...

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=115285>

ロッキード・マーチン・チームは NOAA の GOES-R 次世代静止軌道環境衛星計画定義とリスク低減フェイズの提案書を提出

LOCKHEED MARTIN TEAM SUBMITS PROPOSAL FOR NOAA'S GOES-R PROGRAM DEFINITION AND RISK REDUCTION PHASE

DENVER - A Lockheed Martin-led team has submitted a comprehensive proposal to the National Oceanic and Atmospheric

Administration (NOAA) for the next-generation Geostationary Operational Environmental Satellite (GOES-R) Program ...

<http://emarketalerts.forecast1.com/mic/eabstract.cfm?recno=115250>

移民の雇用問題が主な関心ー特集:EU 拡大から1年(9)ー(英国)ロンドン発

政府は、EU 新規加盟国からの移民労働者が国内経済に好影響を与えているという調査結果を発表。国内の雇用情勢は比較的安定したレベルにあり、一定の制限を設けた上で、移民労働者受入れに前

向きな姿勢を示している。製造業は新規加盟国の動向を懸念・注視しているものの、むしろ中国を脅威と感じている。

製造業アウトソーシング戦略の限界ー米国の発注企業に広がる不安ー

「生産のアウトソーシング」は、以前から繊維、軽工業、家電などの分野で行われてきたが、特に 1990 年代後半からは、世界の電子機器業界で「メガトレンド」とも形容されるほどの大きな流れになった。しかもその形態は、発注企業のブランドによる生産だけを委託する OEM から、開発・設計も含めて委託する ODM、関連サービスも含めて委

託する EMS(電子機器受託製造サービス)などに進化をとげてきた。対象品目も、初期に主流だったパソコンや周辺機器から携帯電話機、携帯端末(PDAs)、MP3(音響再生端末)、デジタルカメラなどに広がった。

[新刊紹介] 2005年5月13日 9:21 ジェトロ

中国を知るための --- 『中国経済の基礎知識 第3版』

基礎事項を集約 --- 波多野 淳彦 著 /A4判 70ページ / 735円

改訂第3版 2005年5月新発売 この1冊で、中国経済の成長、日中経済関係の深まり、WTO加盟前後の中国の動き、中国ビジネスにおけるリスクを簡潔に把握できる!

<http://books.jetro.go.jp/obs.cgi?cmd=dp&num=345>

SmartQuote

「承知した。デミレさん、私は店じまいの準備はできた」

All right, Mr. DeMille, I'm ready for my close-up."

--Gloria Swanson 「サンセット通り」の中で in "Sunset Boulevard"

[国際関係・一般]

ミサイル防衛 新レーダ沖縄配備 全国4基、中朝に対応

産経新聞 05年05月16日 朝刊 1面 5段 図 1939

北朝鮮 中短距離、500基以上 ミサイル精度向上か

日本経済新聞 05年05月16日 朝刊 6面 4段 写 1773

米軍「北朝鮮ミサイル、日本に」政府、一時緊迫 30分後に訂正 通報システム見直し

朝日新聞 05年05月14日 朝刊 4面 7段 図 0216

北朝鮮ミサイル 米戦略軍が試算 迎撃決定 7分以内の判断必要

毎日新聞 05年05月14日 朝刊 9面 2段 0496

米国司令官証言 北朝鮮ミサイル迎撃「米国、7分で決断」

読売新聞 05年05月13日 朝刊 2面 1段 1296

北朝鮮問題で守屋武昌防衛事務次官 核実験の可能性「排除できない」

朝日新聞 05年05月13日 朝刊 2面 1段 1171

北朝鮮の核実験阻止 政府、米韓と協議へ 中国に働き掛け強化

日本経済新聞 05年05月13日 朝刊 2面 4段 表 1529

北核実験 自民党、月内に制裁案 国連付託を前提、複数用意 中国、核実験に強く反対

産経新聞 05年05月13日 朝刊 2面 3段 1763

核実験に備えて自民党が新制裁案 月内にも策定へ

毎日新聞 05年05月13日 朝刊 2面 1段 1417

守屋武昌防衛次官 北の核兵器計画 進展の可能性も

読売新聞 05年05月13日 朝刊 4面 1段 1307

自民党チーム 北朝鮮核実験月内に対応策

朝日新聞 05年05月13日 朝刊 4面 1段 1191

ミサイル防衛 広く緊急迎撃可能に 対処要領概要判明 明確兆候ない場合備え

読売新聞 05年05月13日 朝刊 2面 4段 1288

日米調整 ミサイル防衛 共同作戦センタ 横田に 発射情報、即時伝達

読売新聞 05年05月12日 朝刊 2面 4段 1135

インドがミサイル実験成功

読売新聞 05年05月13日 朝刊 7面 1段 1330

[宇宙・航空・科学]

「しんかい」本日1211メートル 火星も地球も海が揺りかご

朝日新聞 05年05月15日 朝刊 201面 5段 写 1292

社説＝有人宇宙活動 日本独自は課題多いが

北海道新聞 05年05月12日 朝刊 2面 3段 2100

ロケット半世紀(6)＝M3S2 噴射口守った真空下実験

読売新聞 05年05月11日 朝刊 31面 4段 写 1198

NASA ディスカバリ燃料タンク交換

毎日新聞 05年05月11日 朝刊 3面 1段 1239

打上げ再延期ディスカバリ 安全対策道半ば 氷の危険性も

NASAすべての検討過程公開

毎日新聞 05年05月11日 朝刊 17面 5段 写図 1294

[宇宙利用・宇宙からの観測・宇宙環境利用・宇宙実験]

スマトラ沖島つぎつぎ 国土地理院が衛星画像解析 3月の地震で、約10島誕生

朝日新聞 05年05月16日 朝刊 2面 4段 写図 1309

技術遺産を訪ねる(7)＝江戸期の反射望遠鏡 太陽の黒点克明に観測

日本経済新聞 05年05月15日 朝刊 29面 3段 写 1731

“究極”の仮想天文台 宇宙観測データ世界中から集約

日本経済新聞 05年05月15日 朝刊 34面 1段 1741

目指せ「夢の天文台」各地のデータネットに集積 バーチャル、誰でも利用

産経新聞 05年05月15日 朝刊 27面 4段 1925

宇宙の旅 20万ドルでいかが 英航空会社募集 日本でまず7人 08年から

朝日新聞 05年05月13日 朝刊 38面 4段 1268

2008年「宇宙の旅」日本人向け募集 お一人様2200万円 5分間無重力

産経新聞 05年05月13日 朝刊 3面 4段 写 1770

「宇宙酒」土佐の名物に 高知県の産学 ロシア・ソユーズに酵母搭載

帰還後培養に19の蔵元へ

日刊工業新聞 05年05月13日 朝刊 25面 4段 0213

[防災・環境・資源・エネルギー]

検証 電車転覆(4)＝崩れた「企業性善説」(おわり)

パチカン枢機卿に有罪 電磁波公害に治外法権なし

産経新聞 05年05月11日 朝刊 6面 4段 1577

**米GE 環境問題対応へ指針発表 年間投資2010年、
15億ドルに拡大**

電波新聞 05年05月11日 朝刊 3面 4段 図 0260

**釧路工業高校と釧路湖陵高校 地震予知へ生徒タッグ
電磁波観測しデータ分析**

北海道新聞 05年05月10日 朝刊 30面 5段 写 1954

[技術・産業]

日本原子力研究所高崎研究所 18日、高崎でオープンセミナー開催

日刊工業新聞 05年05月16日 朝刊 24面 1段 0174

**東京農工大学 モニタリング手法開発 水中のマイクロカプセル
破壊位置を超音波で特定**

日刊工業新聞 05年05月16日 朝刊 26面 5段 写 0194

進化する画像診断(2)＝超音波エコー ミクロの泡で精度アップ

朝日新聞 05年05月16日 朝刊 20面 4段 写 1344

東京大学生産技術研究所 ITSの拠点開設 運転シミュレーター公開

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月13日 朝刊 7面 2段 写 2402

東大生産技術研 車の模擬運転、臨場感たっぷり 360度の映像も

日本経済新聞 05年05月13日 朝刊 17面 3段 写 1649

**経済産業省 政策方向性で報告書 サービスロボ市場創出
5年内、B2Bで**

日刊工業新聞 05年05月13日 朝刊 2面 2段 0015

**トランス特集 トランス市場新たな展開 日系各社、
付加価値製品にシフト市場動向、生産動向**

電波新聞 05年05月13日 朝刊 6面 8段 写図 0304

**三井造船 NGHの実用化研究加速
日産10トン デモプラント設備建設へ**

化学工業日報 05年05月13日 朝刊 11面 4段 0424

富士通テン 「CRAMAS」改良 演算性能を向上

日刊自動車新聞 05年05月13日 朝刊 3面 2段 写 0507

川商エレクトロニクス 液中微粒子計測器を出展

医療品などの世界展に

鉄鋼新聞 05年05月13日 朝刊 5面 2段 写 0606

パーカーコーポレーション 蛇の目ミシン工業と共同で

樹脂部品向けの小型レーザー溶着システム開発

日刊工業新聞 05年05月12日 朝刊 6面 4段 写 0032

日本テキサス・インスツルメンツ 無線基地局向けチップを出荷

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月12日 朝刊 6面 1段 2195

アンリツ 移動通信局のアンテナ系障害を1台で測定する

マイクロ波サイトマスタS810D/S820D発売

フジサンケイビジネスアイ 05年05月11日 朝刊 14面 1段 写 1867

横河電機 高感度レーダレベル計発売 厳しい測定条件に対応

食品新聞 05年05月11日 朝刊 8面 4段 写 1008

アイコム 無線LANアンテナ発売 防水、防塵性高い屋外向け

日刊工業新聞 05年05月11日 朝刊 9面 1段 写 0070

東邦チタニウム チタンインゴット本社工場で増産

来年度、年9000トンに 航空機など部品需要に対応

日刊工業新聞 05年05月11日 朝刊 13面 4段 0112

アルファ・エレクトロニクス 薄膜チップ抵抗器開発

小型・高抵抗で優れた温度特性

日刊工業新聞 05年05月11日 朝刊 23面 3段 0197

富山大学 蛍光顔料複合「光るアルミ」 輝度2倍に改良

鉄鋼新聞 05年05月11日 朝刊 7面 2段 0589

[通信・放送・IT]

クローズアップ 気になる商品＝公衆無線LAN基地局が増加

低料金化で利用者層拡大

産経新聞 05年05月15日 朝刊 5面 4段 写表 1881

日本ケーブルテレビ連盟東海支部 「万博チャンネル」が好評

会場から毎日生放送 受信希望局が増える

電波新聞 05年05月13日 朝刊 10面 4段 写 0314

総務省が方針 07年度からBSデジタル2局増へ 新規参入を優先

電波新聞 05年05月13日 朝刊 10面 3段 0317

総務省方針 07年度からBSデジタル2局増 新規参入を優先

中国新聞 05年05月12日 朝刊 9面 3段 2269

総務省方針 BSデジタル放送 07年度から2局増

西日本新聞 05年05月12日 朝刊 8面 1段 2317

総務省方針 BSデジタル新規2局増へ

毎日新聞 05年05月12日 朝刊 3面 1段 1247

BSデジタル2局増 07年度から 新規参入を優先

北海道新聞 05年05月12日 朝刊 8面 2段 2115

総務省 PHS用基地局設置規制緩和へ

朝日新聞 05年05月12日 朝刊 10面 1段 11066

記者の目＝携帯基地局の無秩序設置

「予防原則」の確立を急げ 20世紀の教訓踏まえて

毎日新聞 05年05月12日 朝刊 4面 6段 写 1251

サン・プランニング・システムズ カナダ・コーレル製ソフト発売

業務過程の改善支援

日刊工業新聞 05年05月12日 朝刊 10面 2段 0063

米衛星ラジオ2社 1-3月期決算

大幅増収、赤字幅に差

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月11日 朝刊 2面 3段 2169

CSC PHSで遠隔操作可能に

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月11日 朝刊 4面 3段 2184

[産学連携, 産学官連携, 中小, 知財]

宇都宮市が補助金制度 中小の知財権取得支援

日刊工業新聞 05年05月13日 朝刊 22面 3段 0187

産学連携拠点＝産総研デジタルヒューマン研究センター

人の動き正確に再現

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月12日 朝刊 16面 3段 写 2280

[経営・人]

ズームアップ＝ミネベア 縦割り組織へ改編 電子機器立直し
技術開発重視 製品別に権限集中

日刊工業新聞 05年05月16日 朝刊 6面 3段 写 0053

コーポレートソフトウェア コンタクトセンタ
診断サービス開始 「見える」運営・管理実現

電波新聞 05年05月16日 朝刊 4面 2段 0239

アナリストの眼＝コスモ証券投資調査部アナリスト
岩崎彰氏 住友チタニウム チタン需要急拡大

株式新聞 05年05月16日 朝刊 5面 5段 写図表 0897

野口聡一さん搭乗再開第1号 スペースシャトル打上げ、
7月に延期 理由は氷でした 配管に対策へ

朝日新聞 05年05月15日 朝刊 3面 5段 写 1242

フロントランナー＝エアバス・ジャパン社長
グレン・S・フクシマさん 次世代超大型機を日本に売込む

朝日新聞 05年05月14日 朝刊 201面 7段 写 0326

東証、敵対的M&A防衛で定款変更 開示義務付け検討

読売新聞 05年05月14日 朝刊 2面 3段 0353

東芝も買収防衛策 社外取締役が発動検討

中日新聞 05年05月14日 朝刊 12面 2段 1071

欧EADS人事迷走 新CEO・エアバス社長決まらず
仏独の「メツ」激突

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月13日 朝刊 2面 3段 2362

顔＝新設の宇宙教育センター長
的川泰宣さん 冒険心あおり子ども元気に

読売新聞 05年05月13日 朝刊 2面 3段 写 1292

米企業年金進む財政悪化 低格付け企業不足額1000億ドル
ユナイテッド航空、制度廃止

日本経済新聞 05年05月13日 朝刊 9面 5段 図 1587

ベトナム 国営航空株売却へ

日本経済新聞 05年05月13日 朝刊 9面 1段 1601

オリンパス 2005年3月期決算 医療、ライフサイエンス共に好調

薬事日報 05年05月13日 朝刊 10面 3段 0898

米投資会社 コーリンメディカルテクノロジー売却を発表

オムロンに100億円規模

中日新聞 05年05月12日 朝刊 9面 3段 写 2209

オムロン 医療機器大手のコーリンを買収

化学工業日報 05年05月12日 朝刊 11面 1段 0413

オムロン 医療機器メーカーを買収

フジサンケイビジネスアイ 05年05月12日 朝刊 5面 1段 1796

フィリップスエレクトロニクスジャパン

医療機器事業を拡大 新規顧客開拓へブランド力強化

化学工業日報 05年05月12日 朝刊 6面 5段 0375

サステイナブル・デザインの諸相(6)＝

建築家 難波和彦 バックミンスター・フラーの教え

建設通信新聞 05年05月12日 朝刊 5面 5段 写 0623

岡本昌巳の先取り作戦＝ヤマハ発動機、インド関連で注目

小島鉄工所、河合楽器製作所に好業績の風

株式新聞 05年05月12日 朝刊 3面 4段 写図 0874

生産改革現場に行く＝新潟ジャムコ 動くライン、無駄発見

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月11日 朝刊 12面 4段写図 2244

談話室＝BAEシステムズから英国大使館に出向している

マシュー・オーチャード航空宇宙専門官

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月11日 朝刊 12面 1段写 2251

談話室＝日本ミルクコミュニティの下田幸三・品質保証部長

衛生管理、消費者の目線で

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月11日 朝刊 18面 1段写 2304

知って得する法律知識 M&A編(8)＝

子会社の優先株で防衛 保身との批判も

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月11日 朝刊 22面 2段写 2327

全国建設業協会 公共調達改革を提言

新入札方式と発注者支援が柱 指名競争廃止盛る

建設通信新聞 05年05月11日 朝刊 1面 7段 表 0591

国交省 航空保安大学校PFI 来月にも実施方針案

候補地は泉佐野、池田市

日刊建設工業新聞 05年05月11日 朝刊 2面 4段 0670

注目株＝新明和工業 新特需発生 排ガス新規制で買い替え期待

株式新聞 05年05月11日 朝刊 1面 3段 図 0901

社説＝日航会長退任 意識改革のきっかけに

北海道新聞 05年05月10日 朝刊 2面 3段 1913

JAL 05年3月期連結決算 営業益561億円

統合効果、目標に届かず

河北新報 05年05月10日 朝刊 10面 4段 表 1974

日本航空 2005年3月期連結決算 営業利益、

全日空を下回る 安全と収益、両立の道険しく

中日新聞 05年05月10日 朝刊 8面 5段 表 2008

上場企業、増配相次ぐ 06年3月期、3割が方針

M&A防衛思惑も

中国新聞 05年05月10日 朝刊 7面 4段 2060

[\[航空輸送・エアライン\]](#)

郵船航空 中印ロ・中東進出を強化

デリーに事務所ドバイ・モスクワ検討

日本海事新聞 05年05月16日 朝刊 1面 5段 写 0813

マニラ国際空港 第3ターミナル 開業急ぎ強制接收

外国投資の拡大期待

毎日新聞 05年05月14日 朝刊 8面 5段 写 0490

中部国際空港 旅客数が400万人を突破 愛知万博も好影響を

週刊観光経済新聞 05年05月14日 朝刊 2面 5段 写 0087

視点＝中部国際空港、開港から3カ月

貨物便数8倍に増加 非航空収入も好調

日刊工業新聞 05年05月13日 朝刊 3面 3段 写 0020

米ボーイング ノースウエスト航空から次世代旅客機

68機受注

日刊工業新聞 05年05月13日 朝刊 7面 1段 0062

インドCLIP＝航空各社格安競争が本格化

1フライト2. 4円のチケットも

フジサンケイビジネスアイ 05年05月13日 朝刊 10面 3段 2040

東京金券店 国内航空便 株主優待券値下がり

前年比1-2割安

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月13日 朝刊 17面 4段写 2485

旅行各社 夏商戦は先手必勝 海外ツアー販促前倒し続々

「間際予約」に対抗、客囲い込み

日経流通新聞MJ(日経テレコン21) 05年05月13日 朝刊 11面 4段 写 2601

シンガポールの格安航空会社 来月 新千歳空港にチャータ便

北海道新聞 05年05月12日 朝刊 3面 4段 2101

旅行各社 チャータ便で夏の海外へ

欧州・ロシア直接乗入れ ベネチアへ5万円割安も

日本経済新聞 05年05月12日 朝刊 31面 5段 写 1507

台湾の中華航空 中国国際航空とマイレージ提携

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月12日 朝刊 7面 2段 2203

三菱重工 主力旅客機「777」の胴体生産

来年度倍増へ 月産7機分 テロ前の水準回復

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月12日 朝刊 11面 5段写 2230

ジャムコ 米ボーイング 次期主力旅客機の内装品受注

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月12日 朝刊 11面 1段 2240

シンガポールのチャンギ空港 格安航空には簡素な造りで

専用ターミナル着工

日経産業新聞(日経テレコン21) 05年05月11日 朝刊 2面 3段写 2168

[コンフェレンス] **May 18, 2005** **曲がり角にきた宇宙** **SpaceAtCrossroads**

<http://spacecrossroads.org/agenda/index.cfm>

8:30 AM Welcome

Mr. Dan Stone President & Chief Executive Officer, Imaginova

8:40 AM Featured Opening Speakers

The Honorable Jane Harman (invited) Representative, United States House of Representatives

The Honorable Dave Weldon, M.D. Representative, United States House of Representatives

9:15 AM **Shuttle, ISS & Beyond**

This panel focused on civil space will include updates on the Space Shuttle's Return to Flight, the International Space Station, and progress on the

Vision for Space Exploration.

Moderator:

Mr. Gavin Clingham DCI Group, LLC.

Panelists:

Mr. Bill Adkins Staff Director, House Space & Aeronautics Subcommittee

Mr. Jeff Bingham Staff Director, Senate Subcommittee on Science & Space

Maj Gen Michael C. Kostelnik, USAF (Retired) Deputy Associate Administrator, International Space Station & Space Shuttle, NASA

Dr. Michael Lembeck Director, Requirements Division, NASA Exploration Systems Mission Directorate

10:30 AM Coffee Break

10:45 AM **The U.S. Legal Environment: Too Risky for Future Space Ventures?**

Today's society is more litigious than ever. What kind of challenges does this new environment present to the commercial space community, particularly entrepreneurs?

Moderator:

Mr. Lon Rains Vice President, Trade Publishing – Editorial, Imaginova Editor, Space News

Panelists:

Mr. Brendan Curry Senior Legislative Assistant, United States Representative Dave Weldon

Mr. Larry Fineran Vice President, Regulatory & Competition Policy, National Association of Manufacturers

Mr. Tim Hughes Majority Counsel, House Committee on Science

Mr. Courtney A. Stadd Senior Advisor, Office of the NASA Administrator

11:45 AM Break for Lunch

12:00 PM Networking Luncheon

1:45 PM **Entrepreneurs: The Future of Space?**

2004 marked an extraordinary year for small and entrepreneurial companies in the space industry. Will these remarkable accomplishments stand the test of time and help build a new aerospace industry?

Moderator

Mr. George Whitesides Executive Director, National Space Society

Panelists

Mr. Stephen Attenborough (invited) **Virgin Galactic**

Mr. David Gump President, **Transformational** Space Corporation LLC

Ms. Debra Facktor Lepore Vice President, Business Development, Kistler Aerospace Corp

Mr. Rich Pournelle Business Development, XCOR Aerospace

3:00 PM **Challenges and Opportunities in National Security Space**

With ever-increasing reliance on space assets, our U.S. economic and national security depends on sound national policy as well as procurement of the right hardware and services. But with challenges in program development, Congress is skeptical of several high-profile national security space initiatives. What lies ahead?

Moderator:

Mr. Warren Ferster Deputy Editor, Space News

Panelists:

Mr. David Cavossa Executive Director, Satellite Industry Association

COL Tim Coffin, USA Chief, National Security Policy and Chief, Space & Missile Defense Division, Office of the Army G3/5

Mr. Benjamin L. Gimeno Director, Legislative Liaison, National Reconnaissance Office

Mr. Joseph Rouge Associate Director, National Security Space Office

Mr. Troy A. Thrash Division Director, Space & Telecommunications, **Futron Corporation**

4:45 PM **Featured Closing Speaker**

Introduction

Mr. Elliot G. Pulham President and Chief Executive Officer, Space Foundation

Speaker

Dr. Michael Griffin NASA Administrator

5:15 PM Networking Reception

5/11/2005 # 293 France in Space a weekly synthesis of French space activities based on French press.

<http://www.france-science.org/home/page.asp?target=nfo-let&PUBLID=9&LNG=us>

It is provided by the CNES office in Washington D.C.. Contact: france-in-space@ambafrance-us.org

*****INDEX*****

ジュネーブに地球観測のグループが集まる

- 1: GROUP ON EARTH OBSERVATIONS MEETS IN GENEVA

MSG-2 の打上げ日程は衝撃解析の確認を待つ

- 2: CONFIRMATION OF MSG-2 LAUNCH DATE AWAITS SHOCK ANALYSIS

ENVISAT は、今までで、もっとも鮮明な全地球マップを提供する計画

- 3: ENVISAT TO PROVIDE SHARPEST EVER GLOBAL EARTH MAP

EUTELSAT は仏の DTT の配備に参画

- 4: EUTELSAT TAKES PART IN THE DTT'S DEPLOYMENT IN FRANCE

ESA の宇宙のビジョンは宇宙探査の青写真を準備するものに

- 5: ESA'S COSMIC VISION TO PREPARE AN EXPLORATION BLUEPRINT

要約

- 6: IN BRIEF

ジュネーブに地球観測のグループが集まる

- 1: GROUP ON EARTH OBSERVATIONS MEETS IN GENEVA

The intergovernmental Group on Earth Observations (GEO) held its first meeting at the World Meteorological Organization (WMO) Headquarters in Geneva on May 3-4. Government representatives from 60 nations and the European Commission as well as members from over 40 international and intergovernmental organizations participated. The GEO Secretariat, to be set up in WMO Headquarters, was established as an independent intergovernmental body following the Third Earth Observation Summit which took place in Brussels in February 2005. Its aims at overseeing the fulfilment of a 10-year implementation plan to create a Global Earth Observation System of

Systems (GEOSS). WMO will be a key contributor to GEOSS and has a long experience in international cooperation and information distribution in the domain of Earth Observation.

During the Geneva meeting, GEO delegates elected a new Executive Committee consisting of 12 members: Brazil, Germany, Italy, Honduras, Japan, Morocco, Russian Federation, Thailand as well as China, the European Commission, South Africa and the United States which are the four co-chairs. [World Meteorological Organization 05/03/2005]

MSG-2 の打上げ日程は衝撃解析の確認を待つ

- 2: CONFIRMATION OF MSG-2 LAUNCH DATE AWAITS SHOCK ANALYSIS

Eumetsat's four-satellite MSG (Meteosat Second Generation) program is scheduled to provide continuous meteorological monitoring until 2018. The MSG-2 spacecraft, to be renamed Meteosat-9 when

operational, will soon join MSG-1 (Meteosat-8), which is operational since January 2004, to provide data and images from geostationary orbit, helping forecasters to predict dangerous weather and improving

climate research. Eumetsat announced that the planned August 23 launch of MSG-2 aboard Ariane 5G will only be confirmed at the end of June pending further analysis of the shock levels the satellite will encounter during launch. The shock environment that the satellite

ENVISAT は、今までで、もっとも鮮明な全地球マップを提供する計画

- 3: ENVISAT TO PROVIDE SHARPEST EVER GLOBAL EARTH MAP

ESA's environmental satellite Envisat, launched in 2002, is currently producing a global land cover map to a resolution three times sharper than any previous satellite map. This project is being realized thanks to the multiple Envisat's instruments working in synergy. Among them, the Medium Resolution Imaging Spectrometer (MERIS) is acquiring images with a spatial resolution of 300 meters, with an average 150 minutes of acquisitions occurring daily, which corresponds to its full resolution mode. The Advanced Synthetic Aperture Radar (ASAR) instrument will differentiate between similar land cover classes, such as wetlands and humid tropical forests. To complement this approach, the Advanced Along-Track Scanning Radiometer (AATSR) will be

EUTELSAT は仏の DTT デジタル地上 TV の配備に参画

- 4: EUTELSAT TAKES PART IN THE DTT'S DEPLOYMENT IN FRANCE

Eutelsat's Atlantic Bird 3 satellite, which already distributes analog channels, is now providing the same service to broadcast transmitters the five multiplexes of the France's new Digital Terrestrial Television (DTT) deployed since March 31st. Primary distribution of television programmes to terrestrial transmitters and cable networks in Europe is a key business activity for Eutelsat: its satellites are in particular a

ESA の宇宙のビジョンは宇宙探査の青写真を準備するものに

- 5: ESA'S COSMIC VISION TO PREPARE AN EXPLORATION BLUEPRINT

European space scientists are expected to adopt a broad blueprint for space exploration between 2015 and 2025. In an April 19 briefing, the European Space Agency (ESA) revealed its Cosmic Vision 2015-2025 program, which lays out a series of science goals, including landings on near-Earth objects, space-based astronomy observatories, and a search for conditions that might support life on other worlds. The missions would be launched in 2015 with their pace and scale being determined by the level of funding made available to the program. The most immediate step for the program is an approval by Europe's Space Science Advisory Committee

要約

- 6: IN BRIEF

ESA flight controllers have successfully completed the deployment of the first boom of the Mars Express Sub-Surface Sounding Radar Altimeter (MARSIS) on board Mars Express spacecraft. The

must withstand will effectively be more severe than the one withstood during the MSG-1 flight in August 2002. [Space News 04/25/2005, Eumetsat 04/18/2005]

used to correct atmospheric distortion and to perform "cloud masking" in order to eliminate cloud pixels. The completed map called GLOBCOVER will be used in several ways, especially providing global observations on forest cover and land dynamics, studying Earth's ecosystems, modelling climate change extent and impacts as well as monitoring worldwide land resources. Information provided by GLOBCOVER map will serve as input to international organizations such as the United Nations Environment Programme (UNEP), the Food Agriculture (FAO), the European Commission's Joint Research Centre (JRC) and the International Geosphere-Biosphere Programme (IGBP). [ESA 05/05/2005]

component of the development of DTT in Italy and the United Kingdom. Moreover, Eutelsat's CEO Giuliano Berretta said he was expecting an expansion of the HDTV (High-Definition TeleVision) market in Europe in 2006, especially through the broadcasting of the Winter Olympic Games in Turin and the Football World Cup in Germany. [Eutelsat 03/29/2005, La Tribune 05/09/2005]

(SSAC) and by ESA's Science Program Committee, expected soon. If the plan is accepted, requests for mission proposals would be sent out later this year. For a space-science mission to be launched in 2015, design studies would effectively need to start in 2007, said Giovanni Bignami, the SSAC's Chairman.

ESA's Aurora space exploration program – the European plan for Mars exploration - may be used, in its early years, as a technology pathfinder for the Cosmic Vision 2015-2025, particularly as the two programs' scientific goals coincide. [Space News 04/25/2005, Center for Defense Information 05/10/2005]

deployment of the second antenna boom has however been delayed to better understand an anomaly that took place when the first boom was deployed. The MARSIS experiment is to map the Martian sub-surface

structure to a depth of a few kilometres, searching especially water.
[ESA 05/10/2005]
The European Commission has given its approval to Alcatel and
Finmeccanica for the creation of two space companies, Alcatel Alenia

Spazio and Telespazio. The merger of the space activities through
the creation of two joint-ventures was announced last January (cf.
France in Space 282 article 1). [SatNews Daily 05/02/2005]

2005年5月12日 18:10 時事通信社「世界週報」

■5月24日号目次■

●国内政治／小泉政権は4年間「何もしなかった」のか／加藤清隆

●特集・独自外交を展開する欧州諸国／

◇「新しい欧州」中・東欧の米国離れ(広瀬佳一)

◇北欧の紛争解決イニシアチブ(馬場千奈津)

●オウム事件／麻原彰晃被告より先に従犯の死刑執行があるか(佐木隆三)

●ワシントン・インサードーズ・ビュー／米国は文明国か？(ハーラン・ウルマン)

●愛・地球博／自然と共生する未来示す愛知万博(大川 節)

●国内経済／日本の有機農業に未来はあるか(石堂徹生)

<シリーズ>

●座標／中国の常識は世界の非常識(平川祐弘)

●日本と世界の安全保障／日中対等に向かう外交が始まった(西原 正)

●今週の軍事情報／いろいろ抜け道がある中国への武器技術移転(江畑謙介)

●知られざる自衛隊／広がる多国間共同訓練(風間 實)

●解剖・混迷政局／世論とは何かを考える時に(岩見隆夫)

●綱渡り・日本経済／中国のデモ抑圧は日本にプラスか(宮尾尊弘)

●漂流・日本社会／夜回り先生との出会い(川人 博)

●ネガとポジの 코리아・ルポ／21世紀、韓国の迷走と選択(池 東旭)

●躍動アジア／「反日」が噴き出した中国大衆の「情報空間」(高井潔司)

●海外経済ウオッチ／ポーランド出身の法王の逝去(渡辺博史)

●国益委員会／ミスト農法による産業革命(中)(田邊 敏憲)

●ワールド・ナウ／対中国武器禁輸解除とドイツ(福田直子)

●エルサレム見聞録／盛上がり欠くガザ撤退反対運動の背景(池滝和秀)

●海洋アジアの潮流／アジア・アフリカは「負け組」か(水本達也)

●世界百一話／オペラシーズンたけなわのパリ(三光 洋)

●ゲストエッセー／フィリピン人看護師導入における問題(浅川晃広)

●BOOKs／

「ブッシュのアメリカ改造計画」小野 亮・安井明彦 著

「中国の人口問題と社会的現実」若林敬子 著

●スポーツワールド／ローテーション、6から5へ(薙野正明)

●大使の食卓拝見(ケニア)／テラピアの揚げ物「サマキ・ワ・クカンガ」(横井弘海)

●ワインのミニテク／ゴッセ(梅田悦生)

●ドクター観幾の占い学入門／魔除けに使われる狛犬と「阿吽」について(佐藤観幾)

●東アジア発経済短信 ●国内日誌 ●Worldnews

○おすすめ○

●記事1●

小泉政権は4年間「何もしなかった」のか
手付かずの「年金」「財政再建」、八方ふさがりの外交

時事通信解説委員 加藤清隆

小泉政権は4月26日、政権発足満4年を終え、5年目に突入した。もしこのまま内閣総辞職などの政変がなければ同内閣は来年9月まで続く。政権期間5年半は池田、中曽根両内閣を抜き、戦後歴代第3位の堂々たる長期政権となる。内閣支持率こそいまだに40%を超え、政権は一見安定しているかに見える。しかしその実態はというと、内政面では、小泉純一郎首相が「改革の本丸」と意気込む郵政民営

化問題に執着しているものの、年金改革、財政再建などの急を要し、しかも困難な重要課題にはほとんど手つかず。外交面では日中、日韓関係が最悪で、悲願の国連安保理常任理事国入りも困難な見通しとなるなど、八方ふさがりの状況にある。自党内からは「(首相は)結局、4年間何もしなかった。テレビに出ていただけ」(幹事長経験者)との極めて辛辣な評価すら出ているのだ。

●記事2●

自然と共生する未来示す愛知万博 地球に優しい技術集結

時事通信名古屋支社 大川 節

愛知県で開かれている2005年日本国際博覧会(愛知万博、愛称=愛・地球博)。「自然の叡智」をテーマに掲げ、地球規模の自然環境やエネルギーなどの問題について、解決の方向性を世界に向けて

発信している。会場はさながら、地球に優しい最新技術を集めた「未来の実験場」だ。ただ、これが一時的な「お祭り」ではなく、自然環境を守るという意識や行動として定着するかが課題だ。

●記事3●

「新しい欧州」中・東欧の米国離れ

防衛大学校総合安全保障研究科教授 広瀬 佳一

ラムズフェルド米国防長官に「新しい欧州」として親米ぶりを称賛された中・東欧諸国は、歴史的・戦略文化的に西欧大国への不信感があり、制度化された国際機構への疑念も強いことから、政治・経済的には欧州連合(EU)中心に秩序を構築するものの、安全保障・防

衛に関しては大西洋同盟・北大西洋条約機構(NATO)を重視するとされてきた。その中・東欧諸国が、昨年のEU加盟前後から微妙にスタンスを変えつつあるように思われる。中・東欧諸国は米国離れを起こしているのだろうか。

●記事4●

北欧の紛争解決イニシアチブ アチェ紛争からパレスチナ問題まで、平和外交を推進

時事通信ロンドン支局 馬場 千奈津

地域紛争の平和的解決を目指し、北欧諸国が調停外交を活発化させている。フィンランドはインドネシア・アチェ州の独立紛争で和平協議を取持ち、「調停先進国」のノルウェーも、スマトラ沖地震を機に

スリランカ和平交渉の仲介を本格始動。米国など大国による武力介入の是非が問われる中、北欧の「平和外交」の試みが一段と存在感を増している。
